

※度会郡の4町（玉城町・度会町・南伊勢町・大紀町）と多気郡大台町の5町が連携し、三重県子どもNPOサポートセンターに委託してファミリーサポート事業を実施しています。

## 各町の担当者より

～養成講座を終えて～

平成27年4月から全国で子ども・子育て支援新制度がスタートし、各自治体では子育て支援の充実に向け様々な取り組みが行われています。

子育て支援事業の一つとしてファミリー・サポート・センター事業があります。この度、本町のコンベンションホールにおいて、5月～6月にかけて提供会員養成講座が開催されました。私も一部講座を受講させていただきましたが、多くの方に受講していただき、また熱心に取り組んでいただき、大変心強く感じましたし、今後利用・活動件数が増えるよう本事業の周知徹底を痛感したところです。

町の未来を担っていく子どもはかけがえのない宝であり、財産です。子どもたちが元気に成長する姿は町の活力です。そのために、子ども・子育て支援は町全体の責任でもあります。

町民すべてが子ども・子育て支援の重要性を認識し、地域全体で支援していく。その一助となるよう本事業をより一層推進していきたいと思えます。



大紀町役場健康福祉課 玉井紀秀

この4月よりファミリー・サポート・センター事業を担当することになりました喜田です。

1年目でまだ何もわからないのですが、これから少しずつファミリー・サポート・センターのことを知っていき、住民の方へも周知していけるようにしていきたいので、よろしくをお願いします。

度会町としては、利用者と同じ目線に立ち、困っている時に安心して利用してもらえるよう、提供会員数を増やしていきたいと思えます。

その為にも、ファミリーサポート養成講座の周知に努め、利用したいと思う方々にとってより利用しやすい環境づくりのお手伝いをしていきたいです。

度会町管理栄養士 喜田愛美

玉城町では、子育てに関する機関が連携してきめ細かな支援ができる体制で子育てを応援しています。

支援センターでは、子育て中のみなさんがいろんな事業を通して、親子・親同士が楽しくふれ合う場となっております。また、ファミリーサポートセンターなどの事業をとおして地域とのつながりの中で子育て家庭も支えています。H24年から実施しているカナダの親支援プログラムNP（ノーバディーズパーフェクト）も今や13期生となり、孤立感を軽減し共感や支え合う仲間作りとして、子育てのスキルの向上などの効果を参加したみなさんが実感しています。

町内の4保育所では「園庭解放デー」や「一時保育」そして子育て支援センターとの連携等子どもの発達について「途切れのない支援」も行なっております。

玉城町は「安心して子どもを産み育てられるまち」としてH27年度も子育て支援の充実を目指していきます。

玉城町子育て総合支援室 川井清美

みなさんこんにちは、大台町子育て支援センター長の中森です。今年の4月に異動になりました。始めて子育て関係の部署に来て、少し戸惑っているのが正直なところです。ファミリーサポートセンター事業につきましては、いつもお世話になりありがとうございます。大台町ではまだ利用は少ないですが、子育てを取り巻く環境はめまぐるしく変化しており、ファミサポの事業も今後増加するものと思われまます。これからも関係機関と連携し、子育て支援の更なる充実を図っていききたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

大台町子育て支援センター長 中森文子



こんにちは

新しく南伊勢町の担当になりました「南伊勢町子育て支援センター」の濱地です。

子どもの数は少ないのですが、地域性を活かし、人と人とのつながりを大切にしていきながら、サポートができるように心がけたいです。

また、提供会員さんを増やして、依頼会員さんが利用しやすい体制を作っていきたいと思っております。

南伊勢町子育て支援センター 濱地京子

## 会員の声

### ◎大台町

「男の子？女の子？何歳？いつ来てくれるの？」 ... 「ファミサポのマッチングしてきたよ」と言ったとたんに娘たちの質問攻めです。

「お願いされた時に預かるんやよ」「それなら早くお願いしてくれないかな、お友達来てほしいな」

私は初期からの会員ですが、援助依頼は数回だけ。

依頼会員さん、迷惑かけるかもと尻込みしなくても大丈夫ですよ。お子さんをお預かりするのを心待ちにする会員さんもたくさんみえると思いますから。

大台町にファミサポができて数年経ちますが、会員は増加しても実際の活動はごく少ないようです。でもそれは、困ったことがあったとき、ご家族やご友人、ご近所さんのお力を借りているということですよ。ステキなことです。

それでも、いざというときのファミサポ。小さいお子さんをお持ちのご家庭の大切な保険としてこれからも継続していただきたいと思っております。

提供会員 池田純子

## 提供会員養成講座を終えて

5月30日・5月31日・6月6日・6月7日の4日間、大紀町コンベンションホールで開催しました。

新規受講生11名（大紀町8名、玉城町3名）といせファミリー・サポート・センターの補講受講生（県内全域で行き合う事を提携しています）3名の参加でした。

講座終了後、7名が登録をして頂き、後日4名の登録を予定しています。

大紀町ファミリーサポート事業として、利用はあまりありませんが、講座を受けて頂き、地域のサポーターとして、皆で地域の子育て支援をしていくのだという認識は持っていただけたと感じています。

度会郡・大台町 FSC 担当 倉木紀子



## 受講して

私はまだ現役で保育に携わっておりますので、愛着関係、信頼関係が築けてこそ保育が広がっていく事を実感します。低年齢の子どもを預かるようになってからは、その大切さを伝えていくこともなかなかむずかしいこ

とです。

若い時は、勢いで保育していたように思いますが、わが子の子育てがひと段落してからは、保育や保護者との関わり方も変わった様に思います。今は、信頼関係ができてこそ、しつけができる時期が来たという言葉に納得しています。そして、十分受け止めてもらう経験を積む、これは預かる子ども同様、保護者にもいえる事だと思います。子どもも親もいろいろなひとに関わってもらうことで、自己肯定でき、居場所ができていくのかと思います。これは、どんな場合もいっしょで、職場の中での話し合いとは別に、今回の講義のあとのワークショップはとてもよかったです。ぜんぜん違う場所から保育、子育てを見ている人と話すことは、ひとりよがりになりがちな保育観が修正されるように思います。今回の講座の感想を娘さんに伝えたところ「安心して。私はちゃんと育ってるんやから」と言われたとか。そんな話に花が咲き、話し合いは終わったのですが、知らない者同士、子育てを支える地域の力のひとつになればという思いは同じでした。

今後、提供会員として地域の子育てに関わらせていただくことになれば、保育園での関わり方とまた違ってくるのかな・・・と思うところもありますが、今回の講義をはじめ、今まで学んできた事、経験を反省点も織り交ぜながら、地域の子育てをサポートしていけたらと思います。

大紀町提供会員 谷口満穂



先日、大紀町コンベンションホールにて開催された提供会員養成講座に参加させていただきました。子育てにおける様々なことを、項目別に分かりやすく講義していただき大変勉強になりました。

食事すること、遊ぶこと、日々繰り返される当たり前の生活において子どもの人格形成を築く上で、大人の関わりがいかに重要かを改めて感じました。子どもはひとりの人格者であり、生まれた時から権利がある、とありました。

子どもは未来の宝です。時代を担う大切な子ども達を、地域の子育て、保育の場で、安心・安全にまもり、育つように努力していきます。

人は一人では生きていけません。一生、どれだけの人に支えられて生きていくのか・・・。

どんなに時代が変わろうとも、人として生まれたことに感謝をし、これからも子ども達に関わっていきたいと、切に感じました。



玉城町提供会員 小竹千奈美

## 6月末までの各町の状況



	依頼会員	提供会員	両方会員	計	活動累計
大台町	53	47	8	108	0
玉城町	108	40	6	154	44
南伊勢町	11	11	1	23	2
大紀町	13	25	1	39	0
度会町	23	13	2	38	1
計	208名	136名	18名	362名	47件

こんな内容で利用されています！！

- ・朝に預かり、保育所や学童へ送る
- ・病児保育エンゼルへの送り
- ・お母さんの休養、仕事、外出のための一時的な預かり
- ・習い事への送迎

など



《みんなネットニュース2014年10月号より引用》

## 「ニュージーランド子育て支援視察」①

◆9月20日～25日／◆主催：三重県子どもNPOサポートセンター

ニュージーランドの子育て支援は、以前から講師を招いて研修会を開いたり、本を読んだりして学んでいましたが、今回実際に現場を肌で感じようと19人でツアーを企画しました。

ニュージーランドでは、就学前教育の理念が国で統一されており、それは一人一人の子どもを大切にする素晴らしいものでした。また、プレイセンターやプレイグループなど、親が子どもを遊ばせながら親自身も学び、地域とも連携しながら仲間で子育てしている様子はうらやましいかぎりでした。

ニュージーランドと日本の時差は3時間と少ないのですが、季節が逆さまで9月は日本の3月くらいの陽気。また、訪問したのはクライストチャーチとオークランドでしたが、南島にあるクライストチャーチの方が北島にあるオークランドより寒いという日本とはまるで逆の関係で、クライストチャーチでは「南風が寒い！（南極から吹いてくる風なので）」という不思議な体験をしました。

クライストチャーチは、3年前の大地震で多くの建物が崩壊し、日本から語学留学していた若者が何人も亡くなった悲しい記憶がある町です。

“2011年2月22日にニュージーランドで発生したマグニチュード6.3のカンタベリー地震。日本人を含む185名の命を奪ったこの地震で、クライストチャーチの中心部にあったゴシック様式の大聖堂も崩壊。尊い命とともに、この街のシンボルもなくなってしまいました。そのクライストチャーチ大聖堂に代わる臨時の聖堂がこの度完成。サランラップの芯の様なボール紙でできた「紙の聖堂」を無償で設計したのが、日本が誇る世界的な建築家・坂茂（ばん しげる）氏である。”



「Ma Cherie」ホームページより抜粋

この紙の大聖堂を見学し、バスに戻る時に道をはさんで向かい側にフェンスで囲まれた空き地がありました。日本人留学生が通っていた語学学校があった土地だそうです。ここだけでは無く、他にも壊れた建物を取り去り空き地になっている所がたくさんありました。（つづく）

（秋山）



## 親子で楽しい絵本コーナー



### 「ぞうくんのあめふりさんぽ」

なかのひろたか：作・絵  
福音館書店  
動物たちが雨の中、散歩しながらお池の中へ・・・  
水遊びが楽しい季節です。お子さんと一緒に“ごきげん”な気分になってみては？  
他にも「ぞうくんのさんぽ」「ぞうくんのおおかぜさんぽ」があります。



### 「かめきちのおまかせ自由研究」

村上しいこ：作／長谷川義史：絵  
岩崎書店  
もうすぐ夏休みです。楽しい事がいっぱい待っていますね。  
さて、皆さんは夏休みの宿題を始めに済ますタイプ？最後にバタバタ？  
自由研究のテーマが決まらないかめきちくんが、8月31日にとった行動は!!  
他にも「かめきちのたてこもり大作戦」「かめきちのなくな！王子様」などがあります。

## みえ子育て支援・緊急サポートネットワーク

●南勢志摩地域センター（玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町ファミリー・サポート・センター）

TEL&FAX 0596-23-3938

〒516-0037 伊勢市岩渕2丁目3番13号 NPO 法人三重みなみ子どもネットワーク内

●多気郡地域センター（大台町ファミリー・サポート・センター）

TEL&FAX 0598-22-1950

〒515-0084 松阪市日野町788 カリヨンビル1階（特定非営利活動法人 松阪子ども NPO センター内）